

南河原中だより

令和5年3月1日発行 第12号 行田市立南河原中学校

目指す学校像

『笑顔と成長が見られる学校』

生徒・保護者・地域から信頼される学校

「今を精一杯に生きる」

校長 増田 勝弘

2月6日にトルコで発生した地震による被害の状況が、連日報道されています。トルコ南部のシリア国境近くを震源として発生した地震で、マグニチュード7.8と報道されています。その9時間後に、震源地を近くしたマグニチュード7.5の地震が発生したことも、被害を大きくしたようです。この地震による被害は、東日本大震災を超えるものとも言われています。今回の報道で、12年前の東日本大震災の記憶を蘇らせた方もいたのではないのでしょうか。東日本大震災は、2011年3月11日午後2時46分に宮城県沖130Kmを震源地としたマグニチュード9.0、最大震度7の大地震です。その日は、行田市は小雪混じりの寒い日でした。発生した時、私は小学校3年生の教室で6時間目の授業の準備をしていました。突然、今までに経験したことのない大きな揺れが起きました。子供たちは避難訓練の通りに机の下に隠れました。しかし、大きな揺れは繰り返し起きました。泣き出す子もいました。揺れが収まった後、校舎内を点検すると、揺れの大きさを改めて認識しました。水槽の水がこぼれていたり、額が落ちてガラスが割れていたりしていました。職員室などのロッカーの上に置いておいた荷物は、床に落ちていました。その学校の近くの会社に勤務していた人たちは、駐車場に集まっていました。地震発生からの停電は、その学校では夕方に復旧しました。しかし、帰宅する道中は真っ暗でした。信号機は全て消えていました。自宅の停電が復旧したのは夜遅くでした。学校は、臨時休業にはなりませんでした。計画的なものも含めた停電や牛乳とパンかおにぎりのみの給食という日が続きました。しかし、報道された被災地の状況は、その比ではありませんでした。地震後の津波による被害は甚大なものでした。街のほとんどの建物が津波の被害に遭った場所も多かったようです。避難を余儀なくされた方々も多くいらっしゃいました。被災地の学校も、例外ではありませんでした。水が引いた校舎は、窓、机や椅子は跡形もないどころか、流されてきた瓦礫だけでなく車があった学校もありました。そんな状況の中実施された、ある中学校の卒業式における答辞を紹介します。「気仙沼市立階上（はしがみ）中学校の卒業式における卒業生代表、梶原裕太君の答辞」です。（裏面）

この答辞からどんなことを感じたでしょうか。階上中学校も被災し、卒業生57名のうち3名は、津波の犠牲になっていました。卒業式が実施された体育館は、避難所となっていました。私は、「生かされた者として」「苦境にあっても、天を恨まず」という言葉の重みを感じました。私たちが今ここにいることは、多くの奇跡と、多くの方々の支えがあつてのことです。何となく、いい加減に生活していたとしたならば、その奇跡と支えてくれている多くの方々に申し訳ないことです。南河原中学校の生徒として、南河原中学校の卒業生として、今生活していることを「あたりまえ」と思うことなく、感謝の気持ちをもちながら、堂々と胸を張って、今を精一杯生きていきましょう。

ポプラの木伐採

校庭を囲むように植えられているポプラですが、2年続けて倒木しています。幸い生徒等に被害はありませんでした。しかし、「生徒が近くにいたら・・・」「道路の方に倒れていたら・・・」と心配をしていました。このことを、市教育委員会に連絡したところ、業者の方がポプラの木を点検してくださいました。その結果「多くのポプラの木が朽ちている」とのことでした。その結果を受けて、今回伐採してくださいました。

伐採後の切り株を見ると、半分くらい朽ちているものもありました。長年親しまれたポプラの木ですので、残念な気持ちもありますが、安全が優先です。校庭西側のポプラの木は、引き続き南河原中を見守ってくれます。保護者、地域の方々には、御理解の程よろしくお願いします。



(R3年10月に倒れたポプラ)



(R4年9月に倒れたポプラ)

卒業証書授与式について

3月15日に予定している卒業証書授与式は、次のような、感染症対策等を行いながら、実施しますので、御理解、御協力をお願いします。○生徒、教職員は、国歌や校歌等の斉唱や合唱以外は、マスクを外してもよい。○来賓、保護者等は、マスクの着用をお願いします。○保護者等の参加は、同居家族のみとする。○発熱等の症状がある者は、式への参加を控える。



3月 行事予定



日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	水		17	金	専門委員会
2	木	卒業式全体練習	18	土	
3	金	県公立高校入学許可候補者発表	19	日	
4	土		20	月	
5	日		21	火	春分の日
6	月	県公立高校追検査	22	水	給食終了
7	火	卒業式全体練習	23	木	大掃除、小学校卒業式
8	水	県公立高校追検査発表	24	金	修了式
9	木	3年生送る会	25	土	
10	金	卒業式予行	26	日	
11	土		27	月	
12	日		28	火	
13	月	3年給食最終日	29	水	
14	火	1・2年卒業式準備	30	木	
15	水	第76回卒業証書授与式	31	金	
16	木	1・2年学年末保護者会			

◎予定が変更になることもあります。

(南中生の活躍をはじめとする学校の様子は、HPでも御覧になれます)

◎令和5年度体育祭の開催時期についてですが、1学期(6月)開催で検討しています。開催日については、年度当初に連絡させていただきます。



「気仙沼市立階上（はしがみ）中学校の卒業式における卒業生代表梶原裕太君の答辞」

卒業生代表の言葉

本日は未曾有の大震災の傷も癒えないさなか，私たちのために卒業式を挙げていただき，ありがとうございます。

ちょうど十日前の三月十二日。春を思わせる暖かな日でした。

私たちは，そのキラキラ光る日差しの中を，希望に胸を膨らませ，通い慣れたこの学舎を，五十七名揃って巣立つはずでした。

前日の十一日。一足早く渡された思い出のたくさん詰まったアルバムを開き，十数時間後の卒業式に思いを馳せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名付けられる天変地異が起こるとも知らずに…。

階上中学校といえば「防災教育」といわれ，内外から高く評価され，十分な訓練もしていた私たちでした。しかし，自然の猛威の前には，人間の力はあまりにも無力で，私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには，むごすぎるものでした。つらくて，悔しくてたまりません。

時計の針は十四時四十六分を指したままです。でも時は確実に流れています。生かされた者として，顔を上げ，常に思いやりの心を持ち，強く，正しく，たくましく生きていかなければなりません。

命の重さを知るには大きすぎる代償でした。しかし，苦境にあっても，天を恨まず，運命に耐え，助け合って生きていくことが，これからの私たちの使命です。私たちは今，それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても，何をしていようとも，この地で，仲間と共有した時を忘れず，宝物として生きていきます。

後輩の皆さん，階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達が，いかに貴重なものかを考え，いとおしんで過ごしてください。先生方，親身のご指導，ありがとうございます。先生方が，いかに私たちを思ってくださっていたか，今になってよく分かります。地域の皆さん，これまで様々なご支援をいただき，ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

お父さん，お母さん，家族の皆さん，これから私たちが歩んでいく姿を見守っててください。必ず，よき社会人になります。

私は，この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。

最後に，本当に，本当に，ありがとうございました。

平成二十三年三月二十二日
第六十四回卒業生代表
梶原 裕太